

# 急性呼吸窮迫症候群(ARDS)とは

心疾患とは関係なく、急性の経過(1週間以内)で発症し、低酸素血症を伴う呼吸器疾患の総称です。ダルメシアンでは遺伝的に発症することがあります。

肺炎、敗血症、誤嚥等の何らかの激しい炎症が引き金となり肺組織が破壊され、さらにそこから炎症が広がっていきます。

ヒトの領域でも治療が奏功せず致死率の高い疾患として知られていますが、ヒト以上に高い死亡率(90%)を有する致死性呼吸器疾患として認識されています。

※敗血症とは…体内の病巣にある細菌などが血液中に入り、細菌そのものや細菌が産生する毒素、あるいは感染に対する反応物質(サイトカイン)などにより全身に重篤な症状がおこった状態。通常、健康な子であれば、細菌などが血液中に流入しても免疫系の働きにより排除されますが、重度の感染症にかかっていたり、免疫力が低下していたりすると敗血症がおこります。

## 《症状》

- 呼吸促拍
- 全身で息をしている感じ
- チアノーゼ

## 《診断》

肺の状態は胸部レントゲンや肺エコーなどの画像診断で確認します。

原因となる疾患の特定のために血液検査や腹部エコー検査等を行います。本人の呼吸状態次第では全ての検査を行う余裕が無いこともあります。

ARDSの診断や原因の特定は非常に難しいとされています。



## 《治療》

基本的には人工呼吸器による呼吸管理となります。

原因疾患を特定し、それに応じた治療を行うことがARDSを食い止めることになります。

肺炎、誤嚥等であれば抗菌剤や少量のステロイドなどで内科治療を行います。

子宮蓄膿症等による敗血症の場合は手術で病巣を取り除く必要があります。

### ◆ 酸素室(ICU)

肺の損傷によって低酸素状態になるため、酸素吸入が必要です。

通常の空気中の酸素濃度は21%ですが、酸素濃縮器を用いて酸素濃度を40%程度にした入院室が酸素室です。残存した肺の機能で呼吸を賄えるよう、酸素室内で安静にしてもらいます。

血中酸素飽和度を測定する機械を装着し、常にモニタリングします。

### ◆ 人工呼吸

酸素室で安静にしても血中酸素飽和度や本人の状態の改善が認められない場合、自力の呼吸では酸素を十分に取り込めないと判断されます。

全身麻酔をかけて気管内挿管をし、人工呼吸器によって呼吸管理を行います。